

10/8(土) 第12回「竹島の日」を考え直す集い

- 日時 2016年10月8日(土) 午後2:00~5:00 会員無料。一般参加はカンパ500円。
- 主催 「竹島の日」を考え直す会 本部;問合せ先 八尾市韓国人会館内 072-949-1521
- 共催 韓国慶尚北道独島財団
- 会場 大阪市住まい情報センター三階ホール (大阪市北区天神橋6-4-20)
⇒天神橋筋六丁目駅(市営地下鉄の谷町線・堺筋線、または阪急千里線)3号出口直結。
- テーマ 「固有領土」主張を批判する 関妃(明成皇后)暗殺の日に

①挨拶 主催・共催団体より

②講演1 『『隠州視聴合紀』と竹島・独島の日本固有領土論をめぐって』

黒田 伊彦 (副会長、元大阪樟蔭女子大学教員)

1667年の『隠州視聴合紀』の「州」を島とみなして、鬱陵島を日本の西北の果てで日本領と解釈する、日本の外交書を検討し、「固有の領土」の英文表記の変遷等から、確かな歴史認識による領土教育の在り方を考える。

③講演2 『『大韓帝国勅令41号』の『石島』は、独島=竹島である』

朴 炳涉 (竹島=独島問題研究ネット 代表)

勅令の石島が独島=竹島であることが明確になれば、韓国の領有は正当にして不動となる。朴さんは、文献資料はもちろん、さらに、日韓漁民の漁業の実態も踏まえて、独島=竹島の韓国領有権を明確にする。

<休憩、質問受付>

④講演3 「外務省見解に基づく領土教育批判と尖閣=釣魚台諸島問題」

久保井規夫 (理事長、歴史学名誉博士、元桃山学院大学教員)

竹島=独島、北方領土に続き、今回は尖閣=釣魚台諸島問題を取り上げる。教科書の領土問題記述は、偏向した政府外務省見解を絶対として、竹島=独島、北方領土、尖閣(釣魚台)諸島を隣国が不法占拠・介入として、領土ナショナリズムを煽っていることを危惧する。韓国、ロシア、中国との友好を追求する正しい歴史認識を明晰にする。

■質疑、討論

■集会決議

「竹島の日」をはじめとする偏向した領土教育を糺す

■連絡・閉会

